

平成 23 年度 大田区区民協働推進会議（第六回）

次 第

平成 24 年 2 月 8 日（水）
18 時 30 分～20 時 30 分
本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 地域力応援基金ステップアップ助成の継続審査
(1) 継続審査結果確認
(2) 審議
- 3 地域力応援基金スタートアップ助成の継続審査
(1) 継続書類審査・報告会・団体訪問結果確認
(2) 審議
- 4 審議事項
地域力応援基金助成事業の検証
- 5 平成 23 年度第七回推進会議について
開催日 2 月 21 日（火）～23 日（木）開催予定 教育委員会室にて
開催時間 18：30～20：30
- 6 NPO・区民活動フォーラム、社会貢献講座、被災地支援等の報告
- 7 その他

【出席者】

青木委員 大塚委員 平林委員 北間委員 伊藤委員 保知委員 田中委員 廣瀬委員

地域振興部地域力・国際都市担当部長、区民協働担当課長、地域力連携協働支援員
地域協働協力員 区民協働担当 2 名

第6回区民協働推進会議 会議録

事務局 定刻になりましたので、第6回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。本日、委員11名のうち8名の方にご出席いただいています。会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。

部長 あいさつ

事務局 本日は、会長・副会長ともにご欠席でございます。

この後は、廣瀬委員に進行をお願いできればと思います。お諮りいたします。

委員 お願いします。

事務局 ご異議が無いようでございますので、廣瀬委員よろしくお願いします。

会長代行 それでは会議を始めさせていただきます。

これより審議に入らせていただきます。まず、「ステップアップ助成の継続審査」について事務局より説明をお願いします。

《地域力応援基金助成事業 継続審査につき非公開とする》

会長代行 続きまして助成金事業の検証に移ります。事務局からご説明をお願いします。

支援員 資料の3から5になります。前回から次回にかけて、委員の皆様からご意見をいただいています。資料3の1について前回のときに未調査の団体について調査の結果を地域協働協力員からご説明します。

協力員 《資料にそって説明》 助成終了後、スタッフの就職活動、学業専念等のため、一部の事業の継続ができていませんが、週1回の会合は続いているということです。

支援員 新たな調査結果が加わったため、前回配付させていただいたものと差し替えをお願いします。前回の推進会議で事務局より提出した論点について、委員の皆様にご意見をいただいたものをまとめています。次回、改善案を提示したいと思いますが、案をまとめる上で、さらにご意見をもらいたい点、また、委員の間で意見が分かれている点もありましたので、資料5にそれをまとめています。事務局からご説明します。

《審議内容は審査にかかわるので非公開とする。》

会長代行 次回、事務局で取りまとめをした段階でご審議をお願いします。

ここで次回の推進会議の日時などについて、事務局から連絡をお願いします。

事務局 それでは日程調整をお願いします。

《日程調整》

今回は、2月21日（火）に開催します。よろしくお願いします。

会長代行 「NPO・区民活動フォーラム」について、事務局より報告をお願いします。

事務局 今回の取り組みとして、来て、見て、参加をテーマとし、1月28日と29日の土日に絞り開催しました。来場者数は延べ、879人でした。28日は地域力応援基金助成事業の報告会と団体交流イベントを開催しました。体験ボランティ

アではガーデニングの体験が行われました。29日はガイドツアー、2つの講座、2つのワークショップを開催しました。連動企画として、mics おおたで1講座を開催しました。また、1階ロビーでハーブティの試飲を行いました。2日間で330杯のハーブティを提供しました。来年度は報告会のやり方や来場者の2階への誘導方法などが課題だと思います。

会長代行 ありがとうございます。次に「被災地支援」について、事務局より報告をお願いします。

課長 現地ボランティアの女性の参加率は、毎月1パーセント上がっています。大田区は、東松島での活動として、国の支援からもれていた在宅で生活している被災者の方に支援をしています。今後の予定として、孤立化防止のために、津波被害甚大地区の在宅被災者の全戸訪問聞き取り事業を開始します。被災者が点在して住んでいる場合、実態がつかめていないのがわかりました。現地ではランチ交流会を開催しメンタル面でつらい方は東松島市の保健師と連携していきます。

会長代行 ただいまの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。また、その他何でも結構ですので、ご発言があればお願いします。
それでは、時間もせまってきたようですので、この辺で会議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。事務局お願いします。

部長 これで、第6回 区民協働推進会議を終わらせていただきます。本日はありがとうございました。

《 終 了 》

平成 23 年度 大田区区民協働推進会議（第七回）

次 第

平成 24 年 2 月 21 日（火）

18 時半～20 時半

本庁舎 教育委員会室

- 1 区民協働担当課長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 「助成金事業の検証」について審議
- 4 区民活動支援施設について
- 5 平成 24 年度予算について
- 6 被災地支援の報告
- 7 その他

【出席者】

青木委員 大塚委員 平林委員 北間委員 中島委員 保知委員 田中委員 廣瀬委員

区民協働担当課長、地域力連携協働支援員、地域協働協力員
区民協働担当 2 名

区民協働推進会議（第七回）会議録 平成 24 年 2 月 21 日（火）

事務局 定刻になりましたので、第 7 回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。

本日、委員 11 名のうち 8 名の方にご出席していただいています。会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。なお、部長は所用のため欠席させていただきます。区民協働担当課長からご挨拶を申し上げます。

課長 《あいさつ》

事務局 つづきまして、会長にご挨拶をお願いいたします。

会長 《あいさつ》

事務局 ありがとうございます。この後は、会長に進行をお願いします。

会長 それでは会議をはじめさせていただきます。お手元の会議次第に沿って進めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

これより審議に入らせていただきます。「助成金事業の検証」について事務局より説明をお願いします。

支援員 第 5 回を踏まえて、第 6 回でお話していただきました。地域力応援基金助成事業の検証の議論のまとめをご覧ください。前回、ご議論いただいた内容についてまとめています。

第 5 回、第 6 回でお話いただいたことを踏まえて見直し案を作成しました。事務局から説明をお願いします。

事務局 資料 1 をご覧ください。方針 1 の助成制度の目的を次のように位置づけます。

スタートアップ助成は団体の育成支援を目的とします。対象はおおむね設立から 5 年以内の団体です。この助成金で、団体の核となる基盤事業を通して団体の基礎作りをしていただきたいと思います。今回の変更点は、助成金の使途として人件費の支出を認めないことです。続いて方針 2 についてご説明させていただきます。団体へのフォローアップ体制づくりについての案です。今までは、区と団体との連絡は、経過観察や事業報告時といった限られた時点で行われるだけでした。そのため、事業の未実施や変更の情報を区民協働担当がつかむのが遅れてしまうことがありました。そこでコーディネーター職が中心となって、団体とこまめに連絡をとり、団体の状況把握をして、フォローが必要ならば区民協働担当につなげていく体制を作ります。経過観察は団体支援を目的として行き、委員の方には、新規事業の中間時点で、事業の進捗状況を確認していただき、問題点があれば事務局が引き継いでフォローアップしてまいります。経過観察の際には団体に、活動に関する資料と自己評価シートを提出してもらおう予定です。ご説明は以上です。

会長 ただいまの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。

委員 団体の自立の件ですが、何をもって自立とするのでしょうか。あいまいになるのではないかと思います。また、自己評価シートのイメージはどういうものなのでしょうか。

事務局 助成金に頼ると団体の自由を縛ることも多くでてきます。団体は助成金だけでなく、別に収入となる事業をもって、その収入で団体の事業を運営していくことが大切だと思います。自己資金で事業を実施し発展していくことが、自立ということだと思います。

支援員 補足します。ジャンプアップ助成は、区のテーマ設定に、団体がノウハウを開発したものを区が引き取っていき、区の事業となる可能性があります。ステップアップ助成は自らの力で継続していくもの。団体の自立はステップで取り組んだ事業を自分たちで発展させ

ていくことです。

事務局 自己評価シートについては現在検討中です。どういう項目にするのかは、まだ決定していません。

会長 事業を実施していくには、まず企画すること、そして作業していきます。いろいろな意見が出ますが、意見調整の優先順位を決めます。役割を分担し、予算を立てて、実践し、結果がでると、今後の課題が出てきます。必ず感想があります。報告して終わりですが反省点がでてきます。それが参考になります。自己評価シートは、個人としては賛成ですが、スタートなどの団体には難しいのではないかと思います。

委員 ひな型を示すとよいかと思います。

事務局 団体に負担をかけないようにしたいと思っています。

委員 自身の団体も自己評価に取り組んでいますが、画一化は難しいと思います。団体のためになるように考えてください。

事務局 自己評価シートはフォローアップに使いたいと思っています。

委員 フォローアップのためだと団体にわかれば良いと思います。

会長 人件費の件ですが、講師として意見を聞き、勉強したいと思っても人件費が認められないとできなくなることもあるのではないのでしょうか。

課長 外部の方へは、報償費として支払えます。

委員 団体の経済的自立ということですが、私が経過観察を行った団体の事業は、収益が得られる事業か疑問です。

事務局 バザーや寄付など、団体が事業を続けられるような視点をもつことが大切です。団体が工夫していく手段をフォローアップできればと思います。

課長 ご指摘の団体は、社会教育のサークルから発展し本格的にやろうとスタートしました。助成金はずっと出続けるものではないので、これから会員を増やし会費を確保するなどを行っていけばと思います。先駆的な団体だと思います。

委員 こういう団体には、福祉的な助成金が出れば良いと思います。

委員 NPO・区民活動フォーラムの発表時の質問に、団体の発表なのか、事業の発表なのかすみ分けができていないとの指摘がありました。事業と団体をどのように審査するのですか。

事務局 団体としてどうしていくのか全体を見ていくことが大切で、事業だけを見ていくのではありません。

委員 いろんな助成金をもらって団体が自立していくというのは、腑に落ちない気がします。

委員 団体が自立していく過程の中で、助成金がどのように係るのか、それぞれの助成金の目的が違ふと思います。助成金の目的をミッションにどう適合させていくかだと思います。方向性として今回、方針が出されましたので来年度はそれでやってみて、やりづらい点がでれば変更していくことを前提にすれば良いと思います。固定化はしないということです。非常に難しいのでやりながら考えていき、具体的な事例に基づいて積み上げていった方が良いと思います。

委員 今年はこれでいくと決めてやっていくと良いと思います。これからもこの場で論議していけば良いと思います。

会長 いろいろとご意見が出ましたが、この方針でやっていくということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。

事務局 委員の皆様には、任期2年ということですので来年度もよろしくお願ひします。早速で恐縮ですが第一回目の推進会議の日程を決めさせていただきたいと思ひます。

《日程調整》

今回は4月24日に開催します。よろしくお願いいたします。

会長 続きまして、事務局より報告をお願いします。最初に「区民活動支援施設」についての報告です。

事務局 mics おおたについてお話しさせていただきます。おおた未来プラン10年の計画事業で、区民活動・地域活動を支援する拠点の整備ということで、大田区全域をカバーする活動拠点として、区民活動団体やNPOなどの連携・協働を総合的に支援する「区民活動支援施設」を新設するというものです。区民活動支援施設蒲田（ミックスおおた）は23年9月に開設しました。開設から1年半がたち、mics おおたの検証時期となっています。mics おおたの概要につきましては4月にお話しさせていただきましたので、今回は検証を踏まえてご報告をさせていただきます。mics おおたの教室や相談交流室などの利用率はまだ低く、講座への参加者も少ない状態です。4つ課題として、①区民活動団体への広報活動②施設利用者の拡大につながる、魅力のある講座の実施、③区民活動支援施設の運営を担う人材づくり、人材育成、④被災地支援ボランティアとの連携・協力があげられます。今後、推進会議において、委員の皆様からご意見をいただき、mics おおたの活性化をはかっていきたいと考えております。次年度の事業展開として、ミックスおおたは、区民活動団体の交流の場・情報発信の場と位置づけ、施設の活性化、利用者拡大を第一目標に進めていき、新たな区民活動支援施設については、今後の施設利用状況および検証結果などを踏まえて、引き続き検討してまいります。以上、事務局からのご報告とさせていただきます。

会長 続いて「平成24年度予算」について、事務局より報告をお願いします。

事務局 予算については、2月15日にプレス発表しております。区民協働の事業から、団体支援とネットワークの強化と大田区被災地支援ボランティア調整センターの運営が発表されました。基本的には平成23年度の事業を継続し、大田区被災地支援に関しては、ボランティアの育成など一部拡大していきます。

会長 最後に「被災地支援」について、事務局より報告をお願いします。

課長 区内被災者支援の動きとして、サロン交流会を1月21日、2月18日に実施、NPO・区民活動フォーラムにおいて、交流会とワークショップを行いました。東松島市では、毎月1回ランチ交流会を実施していますが、2月は高砂部屋の力士や落語家、城南信金の協力で約800人が集まりました。今後の予定として区内被災避難者の全戸訪問を開始し実態把握と孤立防止を進めていきます。

会長 ただいまの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。また、その他何でも結構ですので、ご発言があればお願いします。それでは、この辺で会議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。事務局お願いします。

課長 これで、第7回 区民協働推進会議を終わらせていただきます。本日はありがとうございました。《 終了 》